

日本植物形態学会第38回評議員会議事録

2026年8月21日 17:00 - 18:00

Zoom オンライン会議

参加者

評議員（唐原、風間、塚谷、永田、林、宮城島、宮沢、吉田）、会長（高野）、庶務幹事（武智）、会計幹事（小林）、編集委員長（朝比奈）、編集委員（大井、秋田、唐原）、広報委員長（元村）、2025年度会計監査（宮城島）、野田大会長（松永）、野田大会準備委員（坂本(勇)、花俣）、
欠席：評議員（稲田、西村）、野田大会準備委員長（坂本(卓)）

報告事項

- (1) 庶務幹事報告：武智庶務幹事より2025年度の活動報告が行われた。会員数はほぼ横這い、との説明があった。
- (2) 編集委員会報告：朝比奈編集長から2025年度の活動報告と、Plant Morphology Vol. 37 および Vol.38 の刊行状況等について報告があった。Vol.38 から、掲載論文はオープンアクセスとなり、近日公開されとの説明があった。昨年度は最終的に予備冊子の余裕がほとんどなかったため、本年度は前回大会前の新入会員数を参考に、予備冊子を約40部として発注した、との報告があった。また、来年度のVol. 39に向けて、今年度の植物学会での共催シンポジウムのシンポジストの先生方に執筆依頼を進めるとの報告があった。
- (3) 広報委員会報告：元村広報委員長から学会ホームページの更新等について報告があった。会員の研究成果について、「最近の研究」に掲載を行っているので、積極的に委員長まで連絡頂きたいとのお願いがあった。
- (4) 会計報告：小林会計幹事より、資料に基づき2025年度の会計報告が行われた。また、宮城島会員から会計監査の結果、会計は適正に行われていたとの報告があった。
- (5) 3賞選考結果について：宮沢選考委員長より選考過程及び結果の報告があった。学会賞は唐原一郎会員、平瀬賞（代表受賞者）は廣岡俊亮会員を選考した。
- (6) 2026年度大会（千葉・野田）について：松永大会長より2026年度大会について、現状報告があった。
- (7) 2027年度大会（奈良）について：武智庶務幹事より、大会長は酒井敦会員、日程は9/9で会場は奈良女子大学の予定との説明があった。
- (8) 生物科学学会連合からの報告：高野会長より、生科連が行ってきた科研費早期倍増運動の経過報告と、博士課程・ポスドクへの公的資金による待遇改善の問題提起について、報告があった。
- (9) 生物科学学会連合生物教育・大学入試問題検討委員会報告：宮沢会員より、次期学習指導要領に関する提言を作成したこと、生科連公開シンポジウムを開催したこと、高等学校の生物教育における重要用語について、解説をWiki形式で作成中との報告があった。
- (10) その他
 - ・ 高野会長より、2026年度からの会計監査を東山哲也会員に委嘱した件について、報告があった。
 - ・ 高野会長より、日本植物形態学会会則の変更について、評議員会にて承認済みであり、総会にて審議する予定との説明があった。

- ・ 高野会長より、日本植物形態学会名誉会員規程および日本植物形態学会シニア生涯会員規程の策定について、評議員会にて承認済みであり、総会にて審議する予定との説明があった。
- ・ 高野会長より、黒岩常祥会員を名誉会員として推薦することになった経緯について報告があった。本人了承済みのため、日本植物形態学会名誉会員規程が総会で承認されれば、総会にて審議する予定との説明があった。
- ・ 高野会長より、評議員会で承認を受けた、「公益社団法人日本植物学会と日本植物形態学会との間における、日本植物学会大会前後での日本植物形態学会大会開催への協力に関する覚書」を、公益社団法人日本植物学会と取り交わす予定との報告があった。

審議事項

- (1) 2026 年度事業計画案について：武智庶務幹事より、2026 年度事業計画案(ただし、8 月下旬までは実績)について説明があり、了承された。
- (2) 2026 年度予算案について：小林会計幹事より、資料に基づき 2026 年度予算案について説明があり、了承された。
- (3) 総会議長候補の選出について：総会議長の選出について審議を行い、特に立候補がない場合は、永田会員にお願いすることが了承された。
- (4) 総会・授賞式プログラムについて：武智庶務幹事より提案された総会・授賞式プログラムについて説明があり、承認された。
- (5) その他
特になし